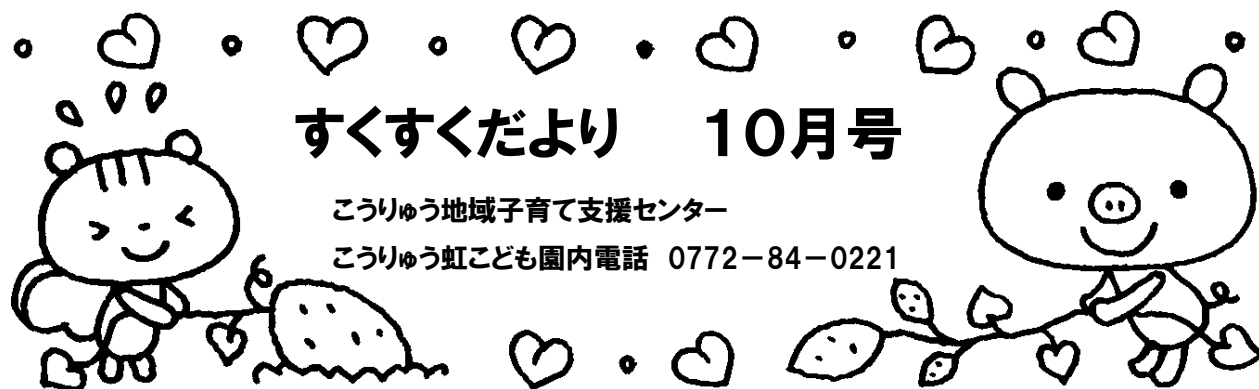




すくすくだより 10月号

こうりゅう地域子育て支援センター

こうりゅう虹こども園内電話 0772-84-0221

いつの間にか、セミの声がコオロギの声に変わり、季節はどんどんと秋に近づいてきました。まだまだ暑い日が続くので、園庭では水遊びをして夏の名残を楽しんでいます。

9月から子山羊も仲間入りしました。年長児を中心にえさやりや掃除などの世話をし、みんなで可愛がっています。支援センターに遊びに来られた際は、ぜひ触れあってみてくださいね。

10月の予定

参加できるお子様

就園までのお子様に参加できます。

時間 9時～14時

お子様の生活リズムに合わせて都合の良い時間に利用して下さい。

妊婦開放日

妊婦さんもいつでも参加できます。生後間もない赤ちゃんに触れたり、先輩のお母さんから話を聞くなど赤ちゃんが生まれてからの生活のプレ体験のようなことが出来る場になるといいですね。お近くに妊婦さんがおられたら是非、お声をかけてあげて下さい。

1日(水) 子育て相談日

24日(金) 子育て交流会

網野地域支援センターにて。
10:00～11:30まで

25日(土) こうりゅう虹こども園運動会

ぜひ遊びに来て下さいね。
出番もありますよ!!

30日(木) 誕生会 身長体重測定をします。

※ 11月 遠足ごっこを予定しています。

薄着の習慣は秋からスタート

寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心掛けていきましょう。

大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長袖を着よう」と思ったとき、子どもは長袖にするのを遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると自然と薄着が習慣づけられます。

薄着で過ごすコツ

- ・寒い時は薄手の上着で調節する
- ・肌着を着て保温する
- ・お腹と背中が出ないようにする



0歳の乳児の五感を刺激しましょう!!

0歳児＝ねんねのイメージがありますが、赤ちゃんは遊ぶのが大好きです。赤ちゃんの脳内にある神経細胞は、誕生の時点でほぼ作り終えられています。見るものすべてに興味を示す赤ちゃんの吸収力に驚かされるでしょう。

～手遊びが赤ちゃん・乳児に与える影響とは～

- 脳の発達を促す…手は「第二の脳」「外部の脳」と表現されることもあるほど、脳の発育に密接に関わっています
- 赤ちゃんの情緒が安定する…優しい笑顔と声で語りかけることで赤ちゃんは愛情を実感することができます
- リズム感が養われる…早くからリズム感が養われると音楽が好きな子どもに育つかも知れません。
- 体を動かす訓練になる…手遊びを通して手や指、首や目を動かす動作を繰り返すことは身体の使い方を学ぶ機会となります。

好奇心旺盛な赤ちゃんにピッタリの 手遊び・触れ合い遊びを紹介!!

生後1か月ごろ・・・『いないいないばあ』

見えなくなったものを一時的に覚えておくことで、脳内における前頭前野の記憶(ワーキングメモリー)を鍛える訓練ができるといわれています

生後3～4か月ごろ・・・『一本橋こちょこちょ』

赤ちゃんが喜ぶ鉄板の手遊びである「一本橋こちょこちょ」は、なでる・叩く・つまむといった皮膚の感覚を養う様々な動きが取り入れられています。最後のくすぐりでは、赤ちゃんの笑い声が期待できそうですよ。

生後10か月～1歳ごろ・・・『バスにのってゆられてる』

身体つきがしっかりしてくる1歳前後には、ダイナミックに身体を動かす手遊び歌がおすすめです。赤ちゃんをのせたパパやママの足をバスに見立てて、坂道やでこぼこ道を進んでいく様子が楽しめます。

参考文献:「ままのて」編集部 ※「ままのて」は妊活・妊娠・子育てに役立つ情報メディアより

